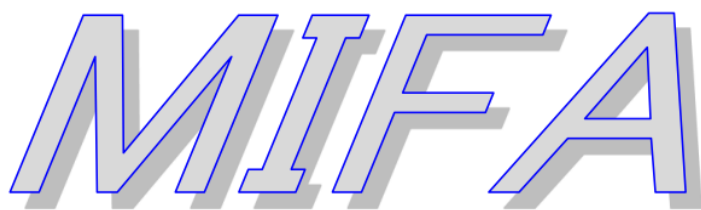


発行日：2022年4月1日

目次

これからの活動について	1
学習者・支援者からの寄稿	2
初めてのスキー	2
MIFA でつかんだ N1 合格	2
楽しみながら日本語を！	3
いつでも、どこでも、楽しみながら学習を！（インタビュー）	4
合格おめでとうございます！（JLPT 合格者）	5
一緒に活動する仲間 募集！	6
ネットで入手する日本語学習教材	6
計報	6
状況表	7
役員会便り	7
5月～7月の予定	8

ま い ふ あ



No.143 Apr/May/Jun2022
まちだ地域国際交流協会
Machida International
Friendship Association
ボランティア団体/会長 黄川田 南
URL: <http://mifa-machida.info/>

これからの活動について

会長 黄川田 南

会員の皆さま、いつもご協力くださりありがとうございます。長らくコロナ禍が続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

新型コロナの感染拡大により一昨年の2月に初めて日本語教室を休止して以来、MIFAは満足に活動できない状態が続いています。昨年も11月に約1年ぶりに教室を再開しましたが、感染の急拡大で今年1月に再び教室を休止。今も休止を続けています。まん延防止等重点措置は3月に終了したものの、歓送迎会などによる人流増大やオミクロン株亜種の出現など、感染再拡大も懸念されます。

こうした中、1月の役員会で教室の休止と再開の基準を見直しました。会員の皆さまや学習者の安心・安全を第一に考えると、従来の基準ではオミクロン株の感染拡大の速さに対応できないと判断したためです。見直し後の基準は次のとおりです。

東京都モニタリング会議の総括コメントにおいて、感染状況の警戒レベルが第3段階(オレンジ色)以上に上がったら休止する。休止中に感染状況の警戒レベルが第2段階(黄色)以下に下がった状況が2週以上続き、医療供給体制の警戒レベルも第2段階(黄色)以下であれば再開する。

今後、この基準に沿って教室再開を判断いたします。早い時期の再開を願っておりますが、まだ時間がかかるかもしれません。教室再開時は、従来と同じ感染対策を行いながらのスタートとなると思います。換気、消毒、検温など、再びコーディネーターの方々には大きなご負担となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。一方、ワクチン接種が進んだり、治療薬が開発されたり、と出口がようやく見える状況になってきています。世の中の動向を見ながらMIFAの活動も少しずつ回復させていきたいと思っております。2023年度にはMIFA創立30周年を迎えます。2022年度の早い時期に記念行事の準備委員会を立ち上げ、準備を進めてまいります。

世界に目を向けると、新型コロナウイルスによるパンデミック、気候変動など大きな問題が起こっています。そして今、ウクライナ侵攻が大きな問題になっています。多くの方が亡くなり、多くの方が避難を余儀なくされています。世界の出来事が私たちの生活に大きな影響を与えるグローバル化の時代に生きていることを実感する毎日です。コロナによる入国制限で今は来日できる外国人が少ない状況ですが、長い目で見れば、観光の他、留学や就労で日本を訪れる外国人はますます多くなるでしょう。日本語教室で学びたいという学習希望者も増えてくるはずですが、MIFAが会則で掲げる「外国人と日本人が、より良い共生関係を作り上げ、異文化交流を深めながら、真の意味の豊かな地域社会を実現する」という活動目標が一層意義あることに思えてきます。

皆さま、ご協力よろしくお願いいたします。

学習者・支援者からの寄稿

はじ 初めてのスキー

張 庭維 (台湾・火曜クラス)

私の母国の台湾は亜熱帯地域に属しています。季節と言えば、春、夏、秋、冬と四つがあるけれど、冬はほぼ雪が降りません。でも、テレビで見るとスキーは滑り台で滑るみたいで面白そうと思い、子供のころからスキーをしてみたいと願っていました。

この二月の下旬に友達と初めてスキーに行きました。今回の湯沢中里スキー場でのスキーの経験は永遠に忘れられないです。スキーのスクールに参加しない予定だったので、スキーに行く前にYouTubeで学びました。重要なテクニックを覚えて、スキーの時に再現しました。最初の日は緩い坂で2, 3時間ぐらい基本的なテクニックを練習しました。その後で、初心者向けのコースに挑戦しました。そして、リフトに乗って頂上に向かいました。リフトに乗っている間、雪がのっている並木の景色がすごくきれいだと思いました。

頂上に着いた後、悪夢は始まりました。天気が悪くなって、何も見えなかった。数分間待っていると、吹雪が弱くなって、手前がだんだん見えるようになりました。ところが、手前の斜面がすごく急だったから、滑るとすぐに転んでしまいました。初心者向けのコースなのに、中級者向けのような斜面だと思いました。それで、繰り返し転んでしまいました。幸い無事に家に戻れました。でも、家に帰った後、筋肉痛は一週間続きました。

今回の初めてのスキーは、滑るというより転ぶほうが多かったと思います。でも、また挑戦したいです。



左側が張さん

MIFA でつかんだ N1合格

王 森 (中国・木夜クラス)



時間が経つのは早いですね。日本に来てからもう5年目になっています。最初はなじめないところもありましたが、時間が経つにつれてほぼ慣れてきました。日本の食事、文化、環境、人間関係に最初は興味があっただけでしたが、今は心から好きになっています。

日本でうまく生活していきたくれば、誰にとっても日本語を身につけることが大切だと思っています。運よく私は2019年10月からMIFA日本語教室で学習することができました。外国人がほぼ無料で学習できる日本語教室は少ないですし、

特に1対1で勉強できる環境は本当に珍しいものです。MIFAの存在は町田とその周辺に住んでいる外国人にとっては最大の福祉だと思います。しかし先生の数に限りがあり、参加できない外国人はまだたく

さんいます。将来もっと多くの日本人ボランティアの先生が参加されて、もっと多くの外国人が日本語を学習できるよう、私のような外国人は期待しております。

昨年12月に日本語能力試験を受けて、幸運にもN1に合格しました。少ない勉強経験からしか言えないのですが、MIFAに入っただけの初心者の皆さんのご参考までに、次の2点をまとめました。一つ目は、勉強にはプランが必要です。学生でも社会人でも、余暇の時間はあまり多くはないので、効率的に時間を利用することが極めて重要だと思います。コロナ禍のため、私は2年間ぐらい家でテレワークしていますので、通勤のための2時間が無くなりました。それで毎日この2時間を利用して日本語を勉強することができました。二つ目は先生の授業をちゃんと受けることです。私は毎週のMIFAのクラスで話したい話題を幾つか用意していました。限られた時間内でできるだけ多くの内容を話して、間違っていた言葉、表現や文法を支援者の佐竹先生に教えていただけました。このようにして、言語の才能を持っていない私でも徐々に上達することができました。

もちろん日本語の勉強は一生の事です。N1合格といっても日常や仕事で使いこなすには遥かに足りないです。私はこの3月に中国に帰国しましたが、生活や仕事のため、もっともっと頑張って日本語を勉強していきます。先生、ありがとうございました。

たのしみながら日本語を！

なかほし ようじ もくぜん しえんしや
中橋 洋司 (木前クラス・支援者)

学生時代に、外国人への日本語指導の講習会を受けました。その時、日本語で日本語を教えるという直接法を経験し、それが私の日本語指導法の原点になっています。

その後、中学校の英語科教員となり、英語指導の傍ら、入学してくる外国人生徒への日本語指導も担当するようになりました。教員になって十年程経った頃、台湾の日本人学校へ三年間派遣されました。そこでも余暇の時間にボランティアで台湾人への日本語指導をしました。その時の一人とは今でも家族ぐるみの付き合いが続いています。その方の娘さんは日本の大学へ留学し、のちに日本の会社へ入社するという大の親日家になっています。

台湾からの帰国後は、外国人生徒及び帰国子女の受け入れ校へ所属することになりました。ここでも英語科教員のほか日本語教室も担当し、さまざまな国からの外国人生徒の日本語指導にあたりました。この時も、ボランティアで成人外国人への日本語指導をしました。その繋がりで、ブラジル人のプロのサッカーチームのコーチに勤務先の中学校のサッカー部に指導に来てもらったり、PTAの懇親会の席へアメリカ人夫妻を招いたり、またロシア人歌手に体育館のステージ上でピアノの弾き語りをお願いしたりと、まさにPTAを巻き込んだ国際交流を深めることもできました。そして今もMIFAで一人の中国人と楽しく日本語を学習しています。これからも楽しみながらともに学ぶという姿勢を持ち続けたいと思います。

日本は今、少子高齢化の時代です。ますますグローバル化が進んでいくでしょう。早くコロナが収束し、一人でも多くの外国人が安心、安全に日本に来られるようになることを願っています。

インタビュー いつでも、どこでも、楽しみながら学習を！

ジナー・シャフェルさんは韓国出身のアメリカ人。
このほど N1 に合格。2018 年秋から月曜クラスで学習中

広報部：N1 合格、おめでとうございます。合格してのご感想は？

ジナー：ありがとうございます。自分の日本語の力を客観的に知りたくて受験したのですが、更に学びを深める良い機会となりました。受験勉強はマラソンのようなもので、やっとゴールした、という感じです。

広報部：ひたすら走り続けた、つまり毎日休まずに勉強し続けた、ということでしょうか。

ジナー：いいえ。私はクリスチャンなので、週に一日は休み、あとの 6 日間で集中的に受験勉強しました。日本語に限らず、私は勉強が好きです。受験がなくても、家事を終えたら毎日机に向かいます。外出先でも「これ、どういう意味？」という言葉に出会ったら写真に撮り、帰宅後に調べます。

広報部：大変な努力家ですね。

ジナー：私は自分の頭を信じていませんから（笑）。勉強は私には習慣的なもので、特に受験のために努力したわけではありません。でも、最後の 3 か月は苦しかったです。受験というストレスを克服できたのも、娘に努力する大切さを伝えたいという強い意志があったからです。希望を持って受験用テキストを 3 回繰り返し返して読みました。そして、神へ祈ることで勉強を続けられました。

広報部：ところで、ジナーさんは、日本語学校で 1 年間学ぶために 1993 年に初めて来日したのですね。

ジナー：はい。その頃、韓国は J-Pop、アニメなどの日本ブームで、私も日本に興味を持ちました。学校で勉強しながら、カラオケ店でアルバイトをしました。画面の歌詞を見て日本語を覚えました。

広報部：それはおもしろいですね。たしかにどこにでも勉強の機会はありますね。

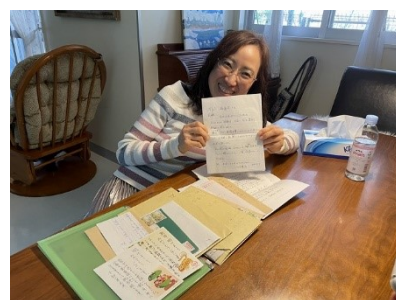
ジナー：はい。積極的に機会を見つけて、そこから学ぶ姿勢を持ち続けることが大切だと思います。

広報部：MIFA に参加して 3 年ですが、コロナで日本語教室が休止となり、実際に勉強できたのは 1 年くらいですね。

ジナー：私は聞く力が弱いので、先生と 1 対 1 で会話のできる日本語教室の休止がとても残念でした。

広報部：教室の休止が受験勉強と重なってしまったのですが、その間、どのように勉強したのですか。

ジナー：対面学習ができなくなった時も、小林先生は新聞記事などを送ってくださり、私の学習上の質問に丁寧に答えてくださいました。私に最後まで頑張るよう励ましてくださった先生にとっても感謝しています。また、日本語の学習会で何人かの仲間や先生たちとリモートでグループ学習もしました。その会で「話す・聞く」の学習もでき、助かりました。



ジナーさん。小林先生からもらった手紙を見せてくれました。

広報部：教室にポータブルタイプのピアノを持ち込み、練習しながら日本語を勉強したそうですね。

ジナー：はい。どんな形でも、楽しみながら勉強はできます。音楽が好きなので、先生とピアノを弾いたり音楽の話をしたりしながら日本語を勉強しました。先生と一緒に聖書も読みました。

広報部：聖書を読むことは日本語の学習に役に立ちましたか。

ジナー：はい。韓国語には「させられる」といった使役受身の表現がなく、テキストを読んでもなかなか理解できません。でもなじみのある聖書の表現と比べることで、すっと頭に入ったのです。

広報部：韓国語には助詞があるし、言葉の並べ方も日本語と似ています。その意味では学習が楽だと思えますが、使役受身以外で難しかったことはありますか。

ジナー：敬語です。韓国語にも敬語はあるのですが、日本語の敬語はずっと複雑です。使いすぎても失礼になるし、形は理解できても、どのような場面でどう使えばよいかの判断がとても難しい。動詞の活用と漢字も大きな問題でした。新聞記事のタテ書きにも困りました（笑）。

広報部：敬語は日本人の私たちにとっても悩みの種です。どのように勉強したのですか。

ジナー：動詞の活用もそうですが、どちらも文章や話のなかでの使われ方に気をつける、理解したことを実際に使ってみる、そして間違っていたら訂正してもう一度使ってみる。その繰り返しです。

広報部：ある言語を使いこなすとは、場面に応じて最も適切な言葉を選び、それを実際に使えるという運用能力を身につけることかもしれません。言葉の運用の仕方でも迷ったことはありますか。

ジナー：しょっちゅうです（笑）。何語であっても、独特の使われ方やニュアンスがあります。たとえば「いじめる」と「意地悪をする」の使い分けは辞書を見ても分かりませんでした。

広報部：そういう時はどうするのですか。

ジナー：その言葉が、どんな場面や状況で、誰が、誰に向かって、どんな気持ちで言われたのかを考えるようにしています。そうしたことを考えることは楽しいことです。

広報部：ジナーさんはあと一年 MIFA で学習して、アメリカに帰国します。N1 に合格した今、MIFA でどんなふうに学びたいですか。

ジナー：私は特に音楽やベジタリアン料理、健康問題、そして聖書に興味があります。MIFA の中に 4, 5 人の小さなグループがあって、そうしたテーマで学べる機会があれば、ぜひ参加したいと思います。もちろんテキストを使った普通の学習も続けていきたいです。

広報部：帰国後も日本語の勉強を続けますか。

ジナー：もちろん！ 言葉の勉強は一生続きますから。私は将来、宣教師になりたいと思っています。アメリカに聖書を日本語で学べる会があるので、そこで勉強を続けるつもりです。

広報部：宣教師として日本語で語るジナーさんに会える日が楽しみです。ありがとうございました。

インタビューを行うにあたり支援者の小林靖治さんから多大なるご協力をいただきました。

末尾ながらお礼申し上げます。（広報部）

ごうかく 合格おめでとうございます！

にほんごきょうしつ ねんかんきゅうし おお じょうきょう あいだ がくしゅう はげ にほんごのうりよくしけん
日本語教室は、この 2 年間休止の多い状況でしたが、その間も学習に励み、日本語能力試験（JLPT）
ごうかく がくしゅうしや れんらく と がくしゅうしや ごうかく かくにん かた けいさい
に合格した学習者がいます。連絡が取れなくなった学習者もいますが、合格が確認できた方を掲載します。

ごうかく じき 合格時期	きゅう 級	な まえ 名前	くに 国	クラス
ねん がつ 2020年12月	N2	ソー タンダー トウン	ミャンマー	もくぜん 木前
	N4	ギリ サンジャタ	インド	げつよう 月曜
ねん がつ 2021年7月	N2	ドー ティ ニュン	ベトナム	げつよう 月曜
	N3	グエン ティ ヒエン	ベトナム	げつよう 月曜
	N3	グエン ティ フェン	ベトナム	げつよう 月曜
	N4	ネバレズ グラディス	フィリピン	ど 土B
ねん がつ 2021年12月	N1	ジナー シャフェル	アメリカ	げつよう 月曜
	N1	おう しん 王 森	ちゅうごく 中国	もくよる 木夜
	N2	グエン ティ フェン	ベトナム	げつよう 月曜
	N3	ギリ サンジャタ	インド	げつよう 月曜
	N4	アパルナ ケイシャバ ムルティ	インド	かよう 火曜
	N5	こう じん 黄 じん	ちゅうごく 中国	げつよう 月曜

一緒に活動する仲間 募集！

MIFA の 5 つの部では、新たな委員を募集しています。委員は、部の活動を役員（部長や副部長のことです）と一緒に担当する仲間のことです。部の活動に参加することでクラスの枠を越えた会員同士の交流を深めることもできます。部の活動への参加を希望する方は、各部の役員や委員、コーディネータにお気軽に声をお掛けください。皆様の参加をお待ちしています。

語学部	語学部は日本語学習が円滑に行われるように学習者と支援者をサポートします。具体的には ①学習希望者への受付・説明・面談連絡、②各教室の運営、③学習者と支援者の組合せ、④学習用図書の本棚管理、⑤スピーチ大会、ブラッシュアップ講座等の開催、などを行います。皆さんのお近くにいるコーディネータや各委員がこれらを担当しています。
友好部	友好部では支援者と学習者の親睦・交流の輪を広げるイベントなどを年に 3 回ぐらい開催しています。楽しいイベントを企画して実施する仕事を一緒にやってみませんか？ 外国の方との違いや同じところを楽しく学びましょう。お手伝いして下さる方を募集しています。
会計部	会計部の主な仕事はコーディネータの協力の下での年会費と学習費の収入の管理、そして支出の管理です。出納帳の記入、支出伝票の整理等多くの事は自宅で自由な時間に行えます。年間の予定も立てやすいです。お気軽に参加してください。
広報部	広報部の主な仕事は MIFA ニュースの発行と HP の更新です。具体的には、支援者や学習者に原稿を依頼したり、自ら原稿を書いたり、ワープロで入力や編集をしたり、などです。これらを役員、委員が分担して行い、皆で記事をチェックします。文章を書くことが好きな方、PC 操作に慣れている方、なんとなく興味のある方、一緒に活動しませんか？
総務部	総務部は MIFA の事務局です。市民フォーラム及び社会福祉協議会ボランティアセンターに団体登録をすることによって、教室会場の利用を可能にします。また会員名簿の管理、総会の開催、HP への問合せへの対応などもしています。お手伝いいただける方をお待ちしています。

ネットで入手する日本語学習教材

インターネット上には無料で入手できる日本語学習の様々な教材がたくさんあります。その中から良質な教材を入手し利用することで、お金をかけずに効率的に日本語を学ぶことができます。学習支援も楽になります。ここでは国際交流基金が提供している無料の教材「いろどり 生活の日本語」を紹介します。

- ・ 入手先 <https://www.irodori.jpf.go.jp/>
- ・ 3冊のテキストブックと音声ファイルを入手可能
- ・ 日本で生活するための基礎的な日本語能力が身につく（JLPT の N4 レベル相当）
- ・ 解説が日本語・英語併記の英語版の他、韓国語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、ベトナム語、フィリピン語（タガログ語）、タイ語、ミャンマー語などの各国語版あり



計 報

MIFA で 20 年近く活動してこられた会員の塚田加代子さんが今年の 1 月 24 日逝去されました。コロナ下、ご親族のみで見送られたとのこと。

塚田さんは、語学部で副部長、総務関係、図書の購入・管理などを担当。木曜午前クラスのコーディネータも務められました。支援者としても様々な国の学習者に丁寧に接し、信頼されていました。2018 年にはスピーチ大会の総合司会を担当なさいましたが、2019 年夏より体調を崩し休会されていました。



2018 年スピーチ大会
右はしが塚田さん

塚田さんの生前のご活動に感謝し、謹んでお知らせ申し上げます。

状 況 表 2021. 12. 26 現在

◆学習者数

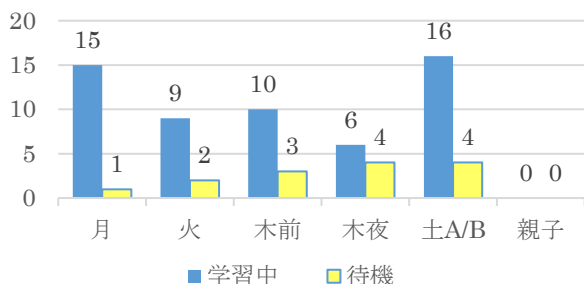
学習中	56
待機 or 休止	14
合計	70

◆支援者

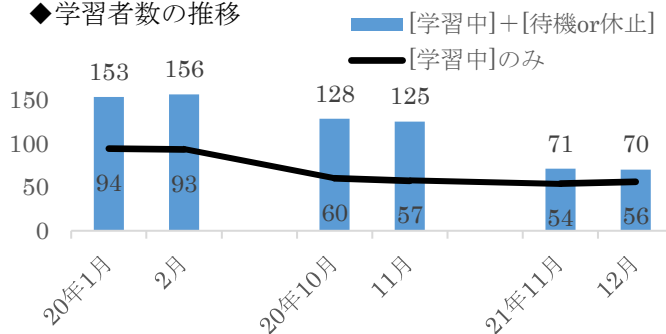
支援中	56
待機 or 休止	51
合計	107

学習中にはリモート学習中の 8 名を含む
支援中にはリモート支援中の 8 名を含む

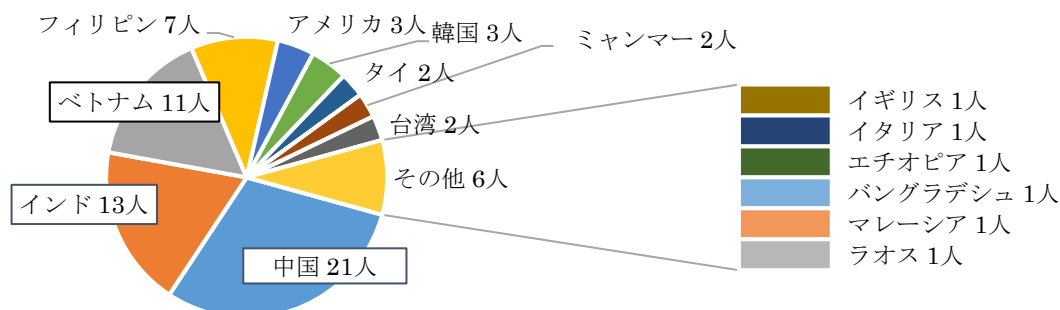
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国



役員会便り

11月9日、12月14日、1月11日、2月8日、3月8日の役員会での議題、報告された事についてお知らせします。

11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ新規感染者数の減少、状況の改善により日本語教室を 11 月 1 日から再開することができるようになりました ・ 感染状況ステージ分類への変更に対応する必要があると思われるので検討します ・ 教室を再開するにあたり確認した結果、待機学習者の人数が実際はそれほど多くはないということがわかりましたので、中止していた新規学習者の受け入れを開始し、HP にも載せることにしました ・ リモート学習はコロナ対策として考えていますので、平常に戻った時にどうするかが課題です ・ MIFA ニュースを発行し HP にもアップしました。会員には郵送、学習者にも教室で配布しました
12月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月10日、町田国際交流センター(MIC)において「MIC 日本語部会」、「町田日本語の会」および MIFA の「三者会議」が開かれ、会長、語学部長、総務部長の 3 名が出席、現状報告と今後についての情報交換をしました。MIFA 以外の 2 団体は 2020 年 2 月から通常教室は休止で、少なくとも 2022 年 3 月末まで再開しないことを既に決めているとのこと。MIC はオンライン教室を立ち上げています ・ 教室を再開し 1 ヶ月が経過しましたが、特に問題はなく新規学習希望者からの問い合わせが少しずつ増えてきています ・ 対面学習での日本語教室は、リモート学習に比べ、帰属意識が高まり、イベントなどへの参加にもつながっていると思われます。コロナ後も MIFA としてリモート学習を続けるか更に検討します


<p>1 月 11 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ新規感染者数が 11 月、12 月と続いていた減少傾向から一転し、年明けから急激な拡大傾向を見せています ・ 日本語教室の休止・再開基準を見直し、感染者数だけでなく医療提供体制も加えました。判断の拠り所は東京都のモニタリング会議の総括コメントです。感染状況の警戒レベルが第 3 段階(オレンジ色)以上に上がったら休止し、休止中に感染状況の警戒レベルが第 2 段階(黄色)以下に下がった状況が 2 週以上続き、医療供給体制の警戒レベルも第 2 段階(黄色)以下であれば再開します ・ 最近、木曜夜クラスの教室予約で他団体と競合することが多く、しばしば予約が難しくなっています。ボランティアセンターの予約状況を確認したところ水曜夜はほとんど予約が入らず、空いているようなので、夜教室は木曜から水曜への変更を考えるのも一つの方法かもしれません。支援者、学習者の意向を聞いてみることにします
<p>2 月 8 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染急拡大のために、前回 1 月役員会の直後に教室休止の決定となり、1 月 16 日から再度の休止となりました ・ 町田ボランティアセンターへ 2022 年度団体登録と上半期の教室について抽選申し込みをしました ・ 従来の木曜夜クラスは水曜への変更の問題がないようなので水曜夜にすることになりました ・ 2020、2021 年度に続いて 2022 年度も総会の開催は困難とされますので、議案書資料を会員に送付し返信ハガキで承認を得るといことにし、それに向けての準備を始めます ・ 新年度を迎えるにあたり、まず考えねばならないのが年会費の問題です。コロナでの休止状態が 3 年目に入ることになりますが、簡単には決められませんのでさらに話し合いを継続します
<p>3 月 8 日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 月に続き年会費の扱いを話し合った結果、コロナの影響で活動縮小の可能性が高いことを踏まえ、2022 年度は会費を徴収しないことを総会議案に挙げる事が決まりました。コロナの影響が低減し平常時の活動になったとしても出費は繰越金でまかなえると判断した結果です ・ MIFA ニュースを発行予定で準備を進めています ・ 総会議案書資料は 4 月半ば、会員に MIFA ニュースとともに郵送します ・ 2023 年は MIFA 創立 30 周年にあたります。どのような形にするかまだ具体的な案はありませんが、節目の年としてふさわしいものにできたらよいと思いますので、支援者だけでなく学習者にも知ってもらおうよう努めていきたいと考えています

5 月～7 月の予定

- 5 月 10 日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 小会議室
- 6 月 14 日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 大会議室
- 7 月 12 日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 大会議室

掲載文及び写真の権利は MIFA に属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]	
濱田敏裕	高田道子
立石滋子	前田昌子

<p>MIFA ニュース No.143 Apr/May/Jun2022 発行日：2022 年 4 月 1 日 問合せ先：濱田敏裕 e-mail : mifa_machida@ybb.ne.jp ホームページ : http://mifa-machida.info/</p>	 ホームページ
---	---